

FMV

B5FY-1911-02



FMVシリーズ

取扱説明書

DATユニット
(FMDT-401)

FUJITSU

はじめに

このたびは、FMVシリーズ用DATユニット(FMDT-401)をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。

本書は、DATユニット(以下、本製品)の取り扱いの基本的なことがらについて説明しています。

お使いになる前に本書をよくお読みになり、正しい取り扱いをされますようお願いいたします。

梱包物を確認してください

- DATユニット(FMDT-401)
- 電源ケーブル
- 電源アダプタプラグ
- SCSI変換コネクタ
- 終端抵抗
- 保証書
- 取扱説明書(本書)

万一、不備な点がございましたら、おそれいりますが、ご購入元にご連絡ください。

2003年10月

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制委員会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- ・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

安全上のご注意

電気製品は安全のため注意事項を守らないと、火災などにより死亡など人身事故になることがあります。事故を防ぐため次のことを必ずお守りください。

安全のため注意事項をお守りください。

この“安全上のご注意”をよくお読みください。

故障したら使わないでください。

不都合が生じた場合はそのままお使いにならず、故障・修理に関するお問合せ先（「お問合せ」→P. 15）またはご購入元にご連絡ください。

警告表示の意味

この取扱説明書および製品では、次の表示をしています。表示の内容を理解してから本文をお読みください。

 警告	 注意
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例	
	△記号は注意（警告を含む）を促す内容であることを告げるものです。
	○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中の具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中の具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警告



● 電源は正しく取り扱ってください。

電源の発熱、発火などによる感電、火災、けがなどを防止するため、次のことを必ずお守りください。

- ・家庭用100Vの電源で使用してください。
- ・発火事故防止のため、引火性ガスが発生する場所では、絶対に使用しないでください。また、電源も入れないでください。
- ・電源コードを加工したり、傷つけたりしないでください。
- ・電源コードの上に重い物を載せたり、引っ張ったりしないでください。
- ・電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。



● 分解や改造はしないでください。

本製品を分解したり、改造したりしないでください。故障や感電、火災などの原因となります。



● 湿気、水漏れ、直射日光は避けてください。

感電や火災を防止するため、本体を次のような場所には放置しないでください。

- ・湿気やホコリの多い場所
- ・雨水などに濡れやすい場所
- ・車の中などの直射日光のあたる場所

● 上に物を載せないでください。

本装置を設置する場合、上に物を載せたり通風口をふさがないでください。最適な通風ができないため故障や火災の原因になります。

● 製品の警告ラベルをはがさないでください。

警告ラベルは感電、火災、けがなどを防止するため必要です。

⚠ 注意



- 濡れた手で電源の電源プラグに触らないでください。感電の原因となることがあります。
- 極端な低温、高温での使用は避けてください。
- 強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。



- 長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 移動させる場合は電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
- プラグをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。



- 本装置のアクセス表示ランプの点灯中にパソコンあるいは本装置の電源を切らないでください。テープのデータが破壊されるおそれがあります。
- テープを強磁界（磁石、モータ、トランスなど）に近づけないでください。データが破壊されることがあります。

目 次

1	概 要	1
1.1	DAT ユニットの概要	1
1.2	DAT ユニットの特長	2
1.3	外観および各部の名称	3
1.4	各部の機能	5
<hr/>		
2	取り扱い上の注意	6
<hr/>		
3	準 備	7
3.1	ドライブ番号の設定	7
<hr/>		
4	接続のしかた	8
<hr/>		
5	操作のしかた	10
5.1	データカセットの操作	10
5.2	データカセットについて	11

6 清掃について 13

- 6.1 磁気ヘッドの清掃 13
6.2 クリーニングカセット 13
-

7 Windows 98 でお使いになるお客様へ ... 14

8 お問合せ先 15

9 仕 様 16

1 概要

1.1 DATユニットの概要

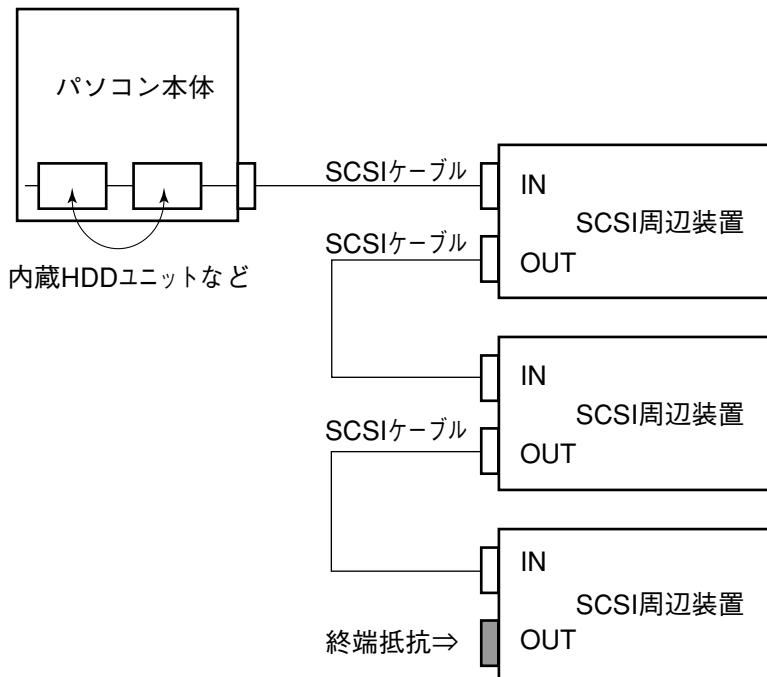
本製品は、FMVシリーズ用のDATユニットです。

インターフェースにSCSI (Small Computer System Interface) を採用しており、SCSIバス上に複数台接続できます（パソコン本体にハードディスクユニットが接続されているときは、それも1台と数えます。）



ポイント

SCSIバス上に接続できるSCSI機器の台数はSCSIカードにより異なります。カードの説明書をご覧ください。



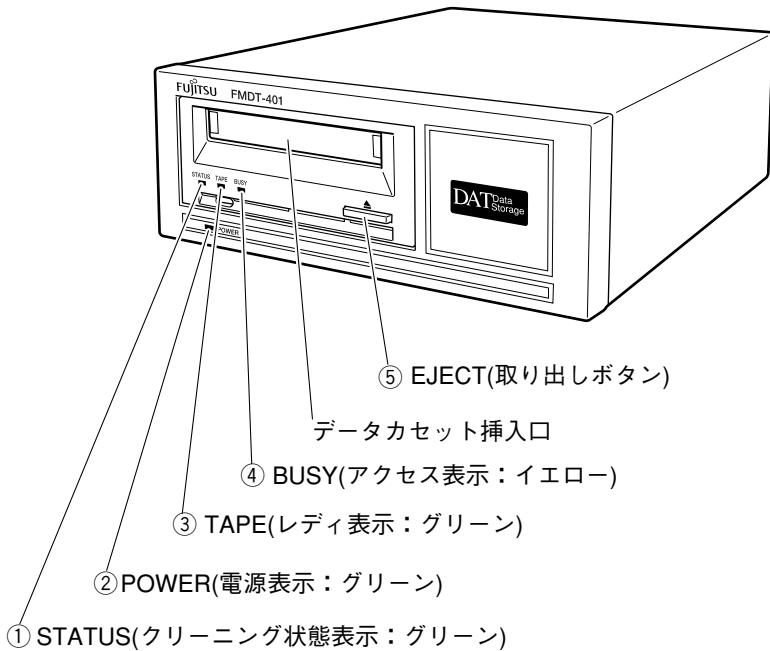
1.2 DAT ユニットの特長

本製品は次のような特長をもっています。

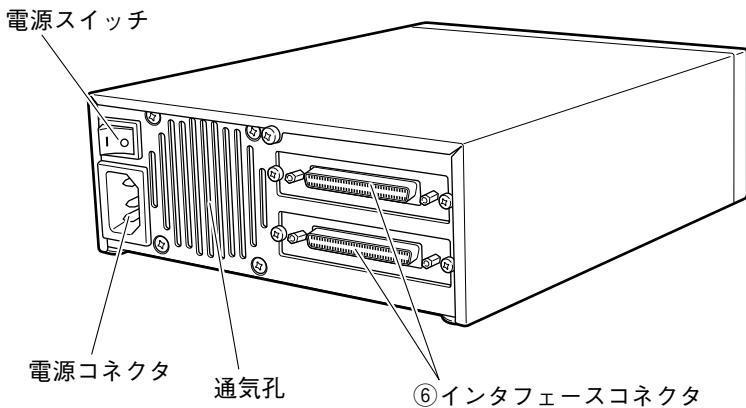
- ・ 磁気記録方式により、何度でもデータの消去、書き込みが可能です。
- ・ 記憶容量は、テープ1巻で20GB（圧縮時40GB）と大容量の情報が記録できます。
圧縮時40GBは、圧縮率2倍の場合です。圧縮率はデータの種類により変動します。
- ・ 記録フォーマットは、ANSI DDS(Digital Data Storage)規格に準拠しています。
- ・ SCSI ID 設定スイッチが底面にあり、さらに「数値ダイヤル式」なのでドライブ番号の設定や変更が簡単にできます。

1.3 外観および各部の名称

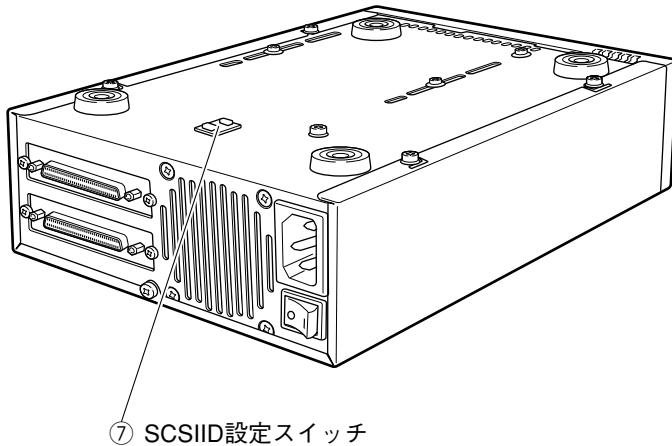
(前面)



(背面)



(底面)



1.4 各部の機能

① STATUS (クリーニング状態表示：グリーン)

クリーニングの必要があるときに低速で点滅します。さらにそのまま使用し続けると点灯します。

※ 低速で点滅または点灯するとき

ヘッドの汚れまたはデータカセットの劣化により、エラー訂正可能な内部エラーが多発していることを示します。本状態は、エラーの警告であり、書き込みおよび読み出しデータには異常はありませんが、エラーの発生を防ぐためヘッドクリーニングを行ってください。クリーニングを行っても点滅、点灯が解除されないときは、新しいデータカセットに交換してください。

② POWER (電源表示：グリーン)

本装置の電源投入状態を示します。

③ TAPE (レディ表示：グリーン)

カセットが挿入され、正常動作時点灯します。

※ 高速で点滅するとき

書き込みエラーが発生しています。ヘッドクリーニングを行い、再度書き込みを実施してください。クリーニングを行っても点滅が止まらないときは、新しいデータカセットに交換してください。

④ BUSY (アクセス表示：イエロー)

ドライブが、テープを読み取っているか書き込みを行っているときに点灯します。このときカセットを取り出すことはできません。

※ アクセスしていないのに高速で点滅するとき

データカセットを取り出して、本体の電源を切断してから、再度電源を投入してください。

上記の操作をしても点滅が止まらない場合は、故障・修理に関するお問合せ先（「お問合せ」→P. 15）またはご購入元にご連絡ください。

⑤ EJECT (取り出しボタン)

ドライブに入っているデータカセットを取り出すときに押します。

⑥ インタフェースコネクタ

SCSI 変換コネクタおよび終端抵抗を接続するコネクタです。

⑦ SCSI ID 設定スイッチ

ドライブ番号の設定に使用します（7ページ参照）。

2 取り扱い上の注意

本製品は精密機器ですので、以下のことに注意してください。

- ・ 極端な高温や低温の場所、または温度変化の激しい場所での保管は避けてください。
- ・ 直射日光のあたる場所や発熱器具のそばには近づけないようにしてください。
- ・ 衝撃や振動の加わる場所での保管は避けてください。
- ・ 湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。
- ・ 内部に液体や金属など異物が入った状態でお使いにならないでください。もし、何か異物が入ったときは、故障・修理に関するお問合せ先（「お問合せ」→P. 15）またはご購入元にご連絡ください。
- ・ パソコン本体の電源を切斷するときは、データカセットを取り出してください。
- ・ 本製品前面の汚れは、やわらかい布でからぶきするか、布に水または中性洗剤を含ませて、軽くふいてください。ベンジンやシンナーなど揮発性のものは避けてください。
- ・ 寒い場所から暖かい場所に移動したり、室温を急に上げたりした直後は、内部が結露する場合があります。結露したままお使いになると、本製品やデータカセットが損傷することがあります。大きな温度変化があったときは、1時間以上待ってから電源を入れてください。
- ・ お使いにならないときは、本製品からデータカセットを取り出してください。また、データカセットを入れたまま本製品を持ち運ばないでください。
- ・ 本製品を分解したり、解体したりしないでください。

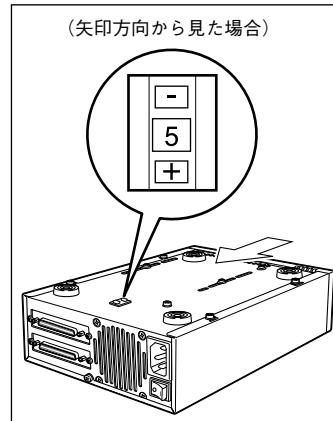
3 準備

3.1 ドライブ番号の設定

■設定方法

本製品の底面のSCSI ID設定スイッチでドライブ番号を設定します。

■を押すことで番号が1増え、□を押すことで番号が1減ります。



■設定時の注意

本製品の設定スイッチは#0～7に変更可能ですが、お使いになっているソフトウェアで特に指定のない場合は、#5に設定してください。（#8～15も変更可能ですが、SCSIカードが対応していませんので、使用しないでください。）

4 接続のしかた

本製品を、パソコン本体の SCSI コネクタに接続する方法は以下のとおりです。

1 電源を切ります。

パソコン本体および周辺機器の電源を切り、電源コードをコンセントから外します。



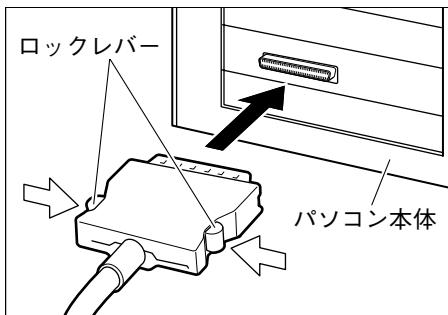
警告

電源を切らずに接続を行った場合、感電の恐れや、本製品およびパソコン本体の故障の原因となります。

2 SCSI ケーブルを接続します。

パソコン本体の SCSI コネクタに、SCSI ケーブルを接続します。

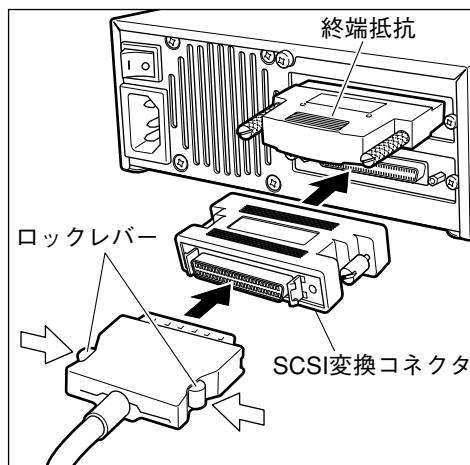
このとき、SCSI ケーブルが抜けないように、コネクタ両側のロックレバーを押さえながら、コネクタがロックされるまでしっかりと差し込みます。



ポイント

- SCSI ケーブルは、別売となっています。ご使用の機器構成に合わせてご購入ください。なお、本装置は添付の SCSI 変換コネクタを使用することにより、ハーフピッチの SCSI コネクタとなります。
- 複数台の SCSI 機器を接続する場合は、本装置を最遠端に接続してください。
(また、本装置を 2 台以上つなげて接続することはできません。)

- 3 本製品の背面に2つあるインターフェースコネクタのどちらか一方に、SCSI変換コネクタを接続します。SCSI変換コネクタにSCSIケーブルを接続します。次に残りのインターフェースコネクタに、付属の終端抵抗を取り付けます。

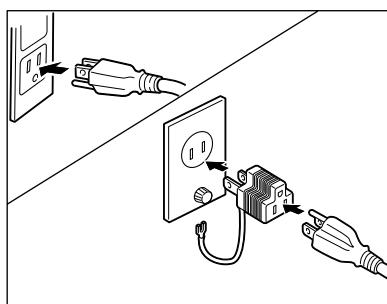


 ポイント

付属の終端抵抗をお使いください。

- 4 電源ケーブルを接続します。

本製品に添付の電源ケーブルを、本製品と電源コンセントに接続します。



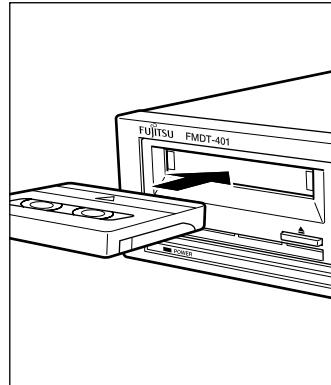
5 操作のしかた

5.1 データカセットの操作

1 セット方法

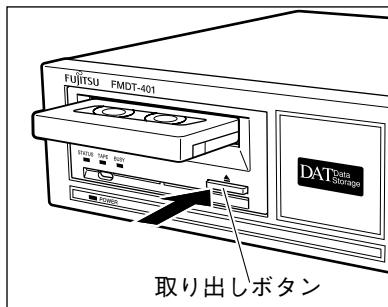
データカセットのラベル面を上に向け、ラベルが手前になるようにしてドライブにまっすぐ入れます。

※データカセットをセット直後にバックアップまたはリストアを実施される際は、データアクセス表示ランプ（イエロー）が消えてから開始してください。



2 取り出し方法

取り出しボタンを押します。



POINT

電源が投入されていない状態では、データカセットのセットおよび取り出しができません。

5.2 データカセットについて

本製品には、下記のデータカセットをお使いください。

品名	商品番号	備考
データカセット DAT CT20G ^{*1}	0121190	20GB (150m) DDS-4 準拠
データカセット DAT CT12000 ^{*2}	0121180	12GB (125m) DDS-3 準拠
データカセット DAT CT4000 ^{*3}	0121160	4GB (120m) DDS-2 準拠
データカセット DAT CT2000 ^{*4}	0121150	2GB (90m) DDS-1 準拠
クリーニングカセット DAT-N	0121170	

*1: CT20G は、FMV-DT401/FMDT-401 でのみ使用できます。

*2: CT12000 は、従来の DAT (FMDT-101/FMDT-201/FMDT-202/FMV-DT201/FMV-DT202/FM60DT101/FM60DT102/FMS-DT101/FMS-DT102) では使用できません。

*3: CT4000 は、従来の DAT (FMDT-101/FM60DT101/FM60DT102/FMS-DT101/FMS-DT102) では使用できません。

*4: DDS-4 と DDS-1 の混在使用はできません。

使用上の注意

1 使用環境

本カセットテープは以下の環境でご使用ください。

温度 : 5°C ~ 35°C

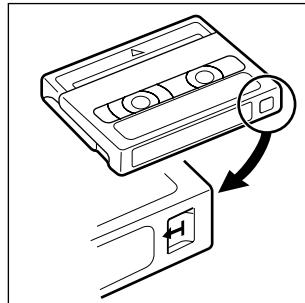
相対湿度 : 20% ~ 80% (結露しないこと。)

最高湿球温度 : 26°C

- 結露を避けるため、急激な温湿度変化 (15°C / 時間、20% / 時間) のもとにさらさないでください。
- 使用環境が変わった場合、新しい環境のもとに24時間程度放置した後にお使いください。

2 書き込み保護について

カセットテープのデータを保護（ファイルプロテクト）するときは、図のよう
に白いタブをスライドさせてください。



3 データカセットの寿命について

カセットテープは消耗品であり、使用回数に限りがあります。300回を目安にしてください。なお、お使いになる環境（温度、湿度など）
や使用方法、装置のクリーニング状況によってはテープの傷みが早い
場合もありますので、早めの交換をお薦めします。

6 清掃について

6.1 磁気ヘッドの清掃

本製品は、データの書き込み・読み取りに磁気ヘッドを使っています。ヘッドがほこりやゴミなどで汚れていると、データの書き込み・読み取りが正常に行われないことがあります。

このようなことを未然に防ぐために、クリーニングカセットによる清掃をお薦めします。

清掃の目安は以下のとおりです。

- (1) 本製品の使用時間が24時間ごとに1回の割合で清掃してください。
- (2) STATUS (クリーニング状態表示) ランプが点滅したとき、清掃してください。

なお、清掃後も点滅が止まらない場合は、新しいデータカセットをお使いください。

6.2 クリーニングカセット

クリーニングカセットは下記のものをお使いください。

クリーニングカセット DAT-N
(サプライ番号：0121170)

7 Windows 98 でお使いになるお客様へ

FMVシリーズ／FMV-BIBLO LIFEBOOKのWindows 98 プレイнстールモデルでは出荷時の状態で、「Microsoft Backup」を使用してテープデバイスへバックアップすることはできません。「Microsoft Backup」でテープデバイスを使用する場合は、次の手順にしたがって、「Microsoft Backup」をインストールし直してください。

1. [スタート] – [設定] – [コントロールパネル] をクリックします。
2. 「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックし、「Windows ファイル」タブをクリックします。
3. 「ファイルの種類」の一覧から「システムツール」を選択し、[詳細] をクリックします。
4. 「ファイルの種類」の一覧から「Microsoftバックアップ」のチェックをはずし、[OK] をクリックします。
5. 「アプリケーションの追加と削除」ダイアログで、[OK] をクリックします。表示されるメッセージにしたがい、パソコンを再起動します。
6. 「Microsoft Backup」の削除が完了したら、再度手順1～3を行います。
7. 「ファイルの種類」の一覧から「Microsoftバックアップ」をチェックし、[OK] をクリックします。
8. 「アプリケーションの追加と削除」ダイアログで、[OK] をクリックします。メッセージにしたがってパソコンを再起動してください。

【注意】

「Microsoft Backup」を再インストールすると、本体のパラレルコネクタにPlug & Play対応の機器（プリンタなど）を接続した場合に、次のような問題が発生することがあります。

- ・ 接続した機器がまったく認識されない
- ・ パソコンを起動するたびに、接続した機器が検出される
- ・ 同じ機器を接続しても、検出されたり、検出されなかったりする
- ・ 接続した機器の動作が不安定になる

上記のような問題が発生する場合は、以下の方法で回避することができます。

- ・ Windows 98 を起動したあとに、パラレルコネクタに接続した機器の電源を入れる
- ・ ドライバのインストールがうまくいかない場合は、[スタート] – [設定] – 「プリンタ」をクリックし、「プリンタの追加」からインストールする

上記の手順は一例です。詳細は、ご購入になった機器のメーカーに問い合わせせよか、機器に添付のマニュアルを参照してください。

8 お問合せ先

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、ご購入元にご確認いただ
くか、以下それぞれの「お問合せ先」にご相談ください。

* 故障・修理に関するお問合せ先

[法人のお客様]

■「富士通ハードウェア修理相談センター」

・フリーダイヤル 0120-422-297

[個人のお客様]

■「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」

・フリーダイヤル 0120-950-222

* 技術的なご質問、ご相談のお問合せ先

■「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」

・フリーダイヤル 0120-950-222

- おかげ間違いないよう、ご注意ください。

- 各窓口ともダイヤル後、音声ガイダンスに従い、ボタン操作を行ってください。

お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。

- お問合せ時間 9:00～17:00 (土日祝日、年末年始を除く)

9 仕様

項目	FMDT-401
対応モード	DDS-1/DDS-2/DDS-3/DDS-4*1
記憶容量 *2	20GB 圧縮時：40GB*3
転送レート	2.75MB/s (非圧縮時)
平均アクセス時間 *2	約 54s
インターフェース	SCSI-3 (ハーフピッチコクタ)
エラーレート (リード)	10 ⁻¹⁵ ビット以下
温 度	稼働時 5°C ~ 35°C 停止時 0°C ~ 50°C (テープ未装着時)
外形寸法	175.2 × 255.2 × 67.4mm
質 量	約 2.8kg

*1：DDS-4 と DDS-1 の混在使用はできません。

*2：DDS-4 (150m テープ) での値です。

*3：圧縮時の記憶容量は、圧縮率が2倍である場合の値です。

圧縮率は、データの種類によって異なります。

FMVシリーズ
DATユニット (FMDT-401)

取扱説明書

B5FY-1911-02-00

発行日 2003年10月
発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

-
- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
 - 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
 - 無断転載を禁じます。
 - 落丁、乱丁本はお取り替えいたします。

(A) 0310-2

FUJITSU

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています。



大豆油インキを使用しています。

